

小児科を受診している患者さんとそのご家族の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	小児マイコプラズマ感染症における薬剤耐性状況が及ぼす診断・治療への影響に関する検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	小児科
研究責任者	(職名) 講師 (氏名) 武藤 太一郎
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	マイコプラズマは、肺炎、気管支炎などの原因となる細菌です。近年薬剤耐性のマイコプラズマといい、通常使用する抗菌薬の作用に抵抗性のあるマイコプラズマが確認されています。耐性を獲得したマイコプラズマには通常使用する抗菌薬が有効ではないため、別の抗菌薬を使用することになります。このような耐性菌を臨床現場でいち早く見つけて、適切な抗菌薬の選択ができないかということ进行研究します。耐性菌を検出できる新たな検査機器を導入しました。この検査機器によってよりよい治療が提供できるかを判断していきます。
対象となる患者さん	2019年8月から2024年3月までに当院を受診し、マイコプラズマ感染症の検査を実施した患者さんが対象です。
研究の方法	実際の診察で行った検査データを収集して解析する方法で実施します。新たに、診察や検査を求めることはありません。使用する検査項目は、血液検査（白血球数や炎症反応の指標）、細菌検査（咽頭拭い液によるマイコプラズマ迅速検査やPCR法）の結果を用います。 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。入手・閲覧を希望する場合、愛知医科大学小児科（下記連絡先）までご連絡ください。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2024年3月31日
研究に用いる試料・情報	情報：使用する情報は、血液検査（白血球数や炎症反応の指標）、細菌検査（咽頭拭い液によるマイコプラズマ迅速検査やPCR法）の結果を用います。

外部への試料・情報の提供	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部小児科学講座 担当者：(職名) 講師 (氏名) 武藤 太一郎 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線) 22149